

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2013年
11月26日(火)
第102号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

「待機児童の解消と保育の質の向上を求める 12・14 都民大集会」を大きく成功させよう

12月14日(土)13時30分開会で、表記の集会が豊島公会堂で開催されます。子ども・子育て支援新制度の政省令の検討が進み、また、政府が進める「待機児童解消加速プラン」では「新制度」を先取りし、保育の市場化を推進する内容になっていることから、保育の質の低下が懸念されます。

東京都は、認可保育園増設の一定の対応をしながら、新制度の先取りであるスマート保育を推進しています。

保育に対する保護者の切実な要求を受けとめ、認可保育園の増設による待機児童解消、保育の質の向上を求める運動を大きく広げることが求められています。東京における保育の運動の重要な結節点として集会が開催されます。全力で、組合員の参加の組織と地域で住民との共同を広げ、成功させましょう。

集会の目的として次の3点を掲げています。①「待機児童の解消と保育の質の向上を同時に目指すことが必要」という都民世論を広げ、認可保育園増設による待機児童の解消に向けた全都の運動を前進させる。②「待機児童の解消と保育の質を求める」都議会請願署名の採択をめざす。③「子ども・子育て支援新制度」の問題を確認し、当面の運動の課題を明らかにする。

猪熊弘子さんが基調講演を行い、パネルディスカッションでは、垣内国光明星大教授をコーディネーターに、猪熊弘子さん、斉藤朋子さん(足立区保育所つくてネットワーク)、民間保育園経営者、遠藤朋子さん(東京自治労連保育部会長)がパネリストとして発言します。

実行委員会主催で、実行委員会には東京自治労連、東京保問協、福保労東京地本、東京民間保育経営懇、三多摩保育連絡会、東京の自治体に働く保育労働者運動実行委員会、目黒保問協、新婦人東京都本部、東京私教連が参加しています。

江東区職労保育園支部 学習・宣伝行動展開

都民の高い関心“マンション見学者、多くが保育園を聞く”

10月23日、自治問題研究員の加藤久忠氏を講師に迎え学習会を行いました。「子ども・子育て会議」で検討されている新制度の内容や問題点、新制度によって公立保育園はどうなるのか、また安倍内閣が40万人の待機児童解消を口実に、保育の質の引き下げを強行しようとしていることなどを学習しました。当日は67名が参加し、「子ども・子育て支援新制度が実施されたらとても不安だし、職場も混乱する。絶対に許せない。署名活動を行って現行の保育園を守っていきたい」「待機児童解消は良いが、子どもの権利を奪うような方法は絶対にやめてほしい」などの感想が寄せられました。

10月6日より亀戸サンストリート前、砂町銀座商店街、豊洲ビバホーム前で街頭署名宣伝行動を行いました。商店街でお店の方が、うちの子も保育園にお世話になったから、と忙しい時間帯にも関わらず署名をしてくれたり、マンションの販売員が「マンションを見に来る多くの人に、近くに保育園はありますか?と聞かれる」と言って署名してくれました。また住民の方から「うちも待機児童だ」とか「孫が待機児童だ」といって寄ってくれる方もいました。若いカップルが足を止めて話を聞いて書いてくれたり、バス停でバスを待っている方が「書きます!」と来てくれたり、関心の

高さを実感しました。三日間で延べ 40 人が参加し、365 筆の署名が集まりました。今後 2 回の宣伝行動を予定しています。

保育園の保護者に向けても各保育園の門前でビラを配布したり、12 月初旬にかけて職員と保護者と一緒に学習会を行い、新制度の内容や問題点、政府が進めようとしている待機児童解消プランなどについて学習し、保護者とも一緒に署名の取り組みを行っていきます。

文京区職労保育園分会

猪熊さんの学習会、1 人 30 筆目標の署名活動

文京区は、子ども子育て支援新制度について、11 月 8 日にジャーナリストの猪熊弘子さんをお迎えして学習会を開催しました。猪熊さんの話は、消費税の仕組みからはじまり、新制度について分かり易い、また新制度先取りによる非常な劣悪な保育の現状を映像も交えて紹介して頂きました。参加は 62 名と少なく残念でしたが、感想には「保育士の専門性が軽視されてしまう」、「子どもの命を守るための保育ができなくなる新制度は直ちに廃案にするべき」、「保育園に預けられれば何でもいい＝預かれれば何でもいい保育になってしまいます」、「新制度について説明をする専門の係を置かないといけなくらい保護者も職員も混乱することが予想される」などの感想が寄せられました。

署名活動も進んでいます。職員 1 人 30 筆を目標に、また非常勤職員にも依頼しています。今後は、保育園の門前で保護者に向けて新制度について説明し、署名の協力を依頼していきます。分会員の中には、「自分自身がそこまで新制度について理解しているか不安……」という声もありますが、だからこそしっかり勉強し、理解し、広め、それを怒りにつなげ活動により一層力を入れていけるようにしていきたいと思います。地域に向けても新制度についてのビラと署名を配布する予定です。

後樂園の駅前で宣伝行動を行ったり、今後も同様の活動や、父母会にも出向き情報を共有していきたいと思っています。

12 月 10 日には、大宮勇雄さんをお迎えして、「保育の質と新制度について（仮）」の勉強会を予定しています。

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。】